



那賀町議会第 160 号

令和 7 年 2 月 2 7 日

令和 7 年 1 月 1 6 日開催

意見交換会（車座会議）参加者 各位

那賀町議会議長 久川 治次郎



木沢地区生活支援団体等と那賀町議会との意見交換会
（車座会議）での御意見・御要望について （回答）

雨水の候、皆様におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、先だってはお忙しいところ、当町議会との意見交換会（車座会議）に御参加くださりありがとうございました。遅くなりましたが、那賀町議会における今後の取組方針等について、別紙のとおり回答いたします。

今後とも当町議会に対しまして、変わらぬ御支援、御鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、ますますの御活躍をお祈り申し上げます。

令和7年1月16日開催 車座会議（木沢地区生活支援団体等）

①各団体の抱える課題と活性化策について

※移動手段がなく、いきいき百歳体操への参加者が減ってきている。

＜今後の議会での対応＞

移動手段の確保に向け、議会として、通行範囲拡大に取り組めます。

また、交通弱者の声を届けられるよう、公共交通協議会への議会の代表参加について申入れを行います。

②行政や議会に対する要望について

※四季美谷温泉について、

21集落中、簡易水道がある3地区以外は山の水を引いている。高齢化もあり、水源地の維持管理も困難で、断水時10日間入浴できず、温泉を利用した人もいた。

地域に根付いたアットホームな雰囲気、地元住民が気安く利用できる温泉施設として再開してほしい。特に、長期休暇で親類が帰省する長期休暇時期には、温泉や食事も利用できればうれしい。

<今後の議会での対応>

休業が続くと、観光面だけでなく、環境衛生や防災面からも課題があると考えます。

まずは、温泉施設の維持管理、保守点検を兼ね、温泉部門だけでも開ける回数を増やすよう、議会として要望したいと考えております。

また、アイデアやノウハウについては、専門家の意見を取り入れるよう申し入れます。

※買い物弱者や100歳体操などの地域における活動を支えるボランティアタクシーについて、通行範囲の規制を緩和してほしい。また、希望する金融機関を対象範囲に含めてほしい。

<今後の議会での対応>

議会として、通行範囲拡大に取り組めます。

また、交通弱者の声を届けられるよう、公共交通協議会への議会の代表参加について申入れを行います。

※移動販売車がきてくれるが、上流部になるほど商品が少なくなっており、購買意欲もそがれる。

<今後の議会での対応>

町から商工会に対し、買い物弱者対策事業として補助しており、移動販売業者の燃料代が助成されています。巡回ルート後半の集落でも十分な在庫が確保されるよう働きかけます。

※木沢地区では自家消費用の茶畑を持っている人が多いが、相生の茶製場がなくなるので心配だ。

<今後の議会での対応>

確定ではありませんが、現在、担当である農業振興課で、指定管理者を募集する方向で対応が検討されています。

※自宅に侵入される恐怖、また食害など、サルによる被害が大きいのでどうにかしてほしい。

<今後の議会での対応>

サルの捕獲の場合、1万円程度のワナが一度で壊れることが多いため、意欲を持って捕獲に取り組んでもらえるよう、サルの捕獲委託料単価3万円への引上げを町に要請したいと考えております。

また、大型花火による追払い実験も検討されています。

※上那賀病院について、早期に休日診療を再開してほしい。

<今後の議会での対応>

「せめて土曜日は対応したい」との町長の発言もございます。早期に実現されるよう、議長並びに医療体制特別委員長より申し入れます。

※空いているチャンネルがあるので、テレビ大阪なども放送できるようにしてほしい。

<今後の議会での対応>

担当課に確認したところ、瀬戸内海放送、OHK テレビ（岡山放送）、RSK テレビ（山陽放送）も同様に、親局や中継局からの電波が弱くサービスエリアの対象外であるため、放送局と契約することができないとのことでした。

※先日の地震の際、木沢支所に避難してきたが、備蓄品など今後の長期避難非常に不安である。

<今後の議会での対応>

担当課に確認したところ、現在、木沢地区では次のとおり備蓄されています。今後は、現在策定中の備蓄計画の中で、地区単位の備蓄目標を策定し、順次備蓄を進めていく予定であるとのことです。

【防災課からのお願い】食料については、各家庭でも最低3日間、できれば1週間分の備蓄をお願いしたいとのことです。

また、直近の避難時に貸し出された毛布が薄かったとの御意見がありました。備蓄されているベッドなどを有効活用するよう、担当部署に申入れを行います。

	備蓄数		R6.4.1時点
区分	種類	木沢地区	町全体合計
食 品 類	米類	1,450食	9,150食
	汁類	800食	3,400食
	ビスケット類	240食	1,592食
	パン類	360食	1,800食
	飲料水	680ℓ	5,443ℓ
生 活 用 品 類	トイレ本体	25台	274台
	トイレ処理剤	1,850回分	29,650回分
	トイレ用テント	5張	66張
	カセットコンロ	19台	104台
	カセットボンベ	64本	753本
	発電機	6台	34台
	投光器	6台	17台
	パーティション(テント)	15張	150張
	簡易ベッド	2台	180台
	毛布	373枚	1,178枚
	大人用おむつ	102枚	2,084枚
	子供用おむつ		744回分
	土嚢袋	3,200枚	4,420枚

※木沢診療所について、先日の臨時休診が周知されておらず、知らずに受診しに来た住民も複数人いた。

<今後の議会での対応>

木沢診療所事務長に経緯を次のとおり確認いたしました。

今後は、へき地医療戦略室や木沢支所等との連携を密にし、住民への広報周知に努めること、また、緊急の場合は防災無線による周知も検討したいとの回答がありました。

【経緯】

1/9

年末の時点で、1/14 には通常の派遣医師が来られないことになったため、別の医師の派遣を手配してもらっていたが、1/9 には別の医師の派遣も難しいことが分かった。

インフルエンザ罹患のため、木沢診療所事務長 1/9～14 まで傷病休暇。1/14 は、看護師が来院者の薬の対応をすることにした。

看護師がカルテを確認し、来院見込の患者には 1/14 臨時休診となる旨個別に電話連絡し、「1/14 休診」の貼り紙をして帰宅。

1/14

早朝から看護師が出勤し、薬等の対応はしていた。

平日の勤務時間内であれば、当日でもケーブルテレビ課では音声告知放送の対応は可能であり、通常の場合は、臨時休診が分かった時点で音声告知放送等により周知しているが、今回は事務長が体調不良のため対応ができなかった。また、へき地医療戦略室や木沢支所等との連携も取れていなかった。

※木沢農産物加工組合の後継者が不足している。

<今後の議会での対応>

深刻な担い手不足は承知しております。他団体も同様の課題を抱えており、地域おこし協力隊の活用などを働きかけていきます。

※旧木沢村での記録映像（木沢の四季）があるので、那賀町合併 20 周年記念事業として、各地区の映像を追加、DVD 化して有料で配布してほしい。

＜今後の議会での対応＞

デジタルアーカイブとして文化財等を残すという町長の方針と合致する内容と考えます。20年記念事業として盛り上げる必要もありますので、行政側に打診いたします。

※農業従事者に対して一般的な補助はあるが、跡取りなど、Uターン者への支援を拡充してほしい。

＜今後の議会での対応＞

現時点でも様々な支援がございます。役場や農協に気軽に相談していただければ、親身になって回答してくれると思います。

※支所には、気安く相談できる職員の配置をお願いしたい。

＜今後の議会での対応＞

支所には以前から地元出身の職員が優先的に配置されています。合併から20年がたち、人手不足から職員の応募数自体も減ってきており、地元職員の配置比率は落ちるかもしれませんが、優秀な職員育成を議会から要請していきます。

※長安口ダム堰堤周辺のトンネルなど、国道の拡幅をお願いしたい。

＜今後の議会での対応＞

国道195号改良期成同盟会やその他の会議体でも国に向けて強く要望してまいります。

※Yショップがいつまで存続されるか不安である。できる限り存続に向けて努力してほしい。

＜今後の議会での対応＞

納入業者及び運営事業者にも継続をしてもらえるよう、行政を通して働きかけていきます。